

心の健康づくりを通した地域の連携体制の構築【熊本県あさぎり町】

＝大学と連携したこころの健康づくり＝

(実施期間) 平成 19 年度～

(基金事業メニュー) 対面相談支援事業・人材養成事業
強化モデル事業

(実施経費) 平成 24 年度 1,367 千円 (実施主体) 熊本県あさぎり町・熊本大学医学部神経精神科

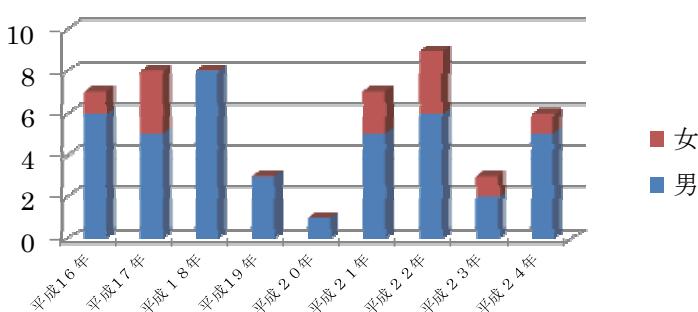
【事業の背景・必要性・目的】

町で策定している「あさぎり健康 21 計画」について、平成 19 年に、住民代表で構成する策定委員会で見直しを行った。その際、町の自殺率が全国や県、圏域に比べ非常に高かったことから、町を挙げての対策が必要ではないかとの意見が多数出た。保健師側も身近な町民の自殺を聞くたびに、自分たちが取り組む保健活動の中でどうにか予防できなかつたのかという思いがあった。自殺やその背景のうつ病等の心の問題を口にするのはタブー視する傾向があり、郡内に精神科の医療機関がなく、町民の意識も把握できにくい環境にあったため、町民の意識や実態を調査し、心の健康についての知識の普及、相談体制の整備を行うことを柱に、こころの健康づくりに取り組むことにした。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

平成 15 年に 1 町 4 村が合併してできた町で、球磨盆地と呼ばれる盆地の中心部にあり、南は宮崎県との県境にある山間地。当圏域は県内でも自殺率の高い圏域で、その中でも当町の自殺率は高く、年代的には壮年期と高齢期に二つの山がある。

あさぎり町の自殺者数の推移



総人口	年齢 3 区分別人口割合		
	年少(0 ~ 14 歳)	生産(15 ~ 64 歳)	老年(65 歳以上)
16, 883	13.9%	55.7%	30.4%

(出典：平成 24 年 10 月 1 日町推計人口)

【事業目標 事業内容】

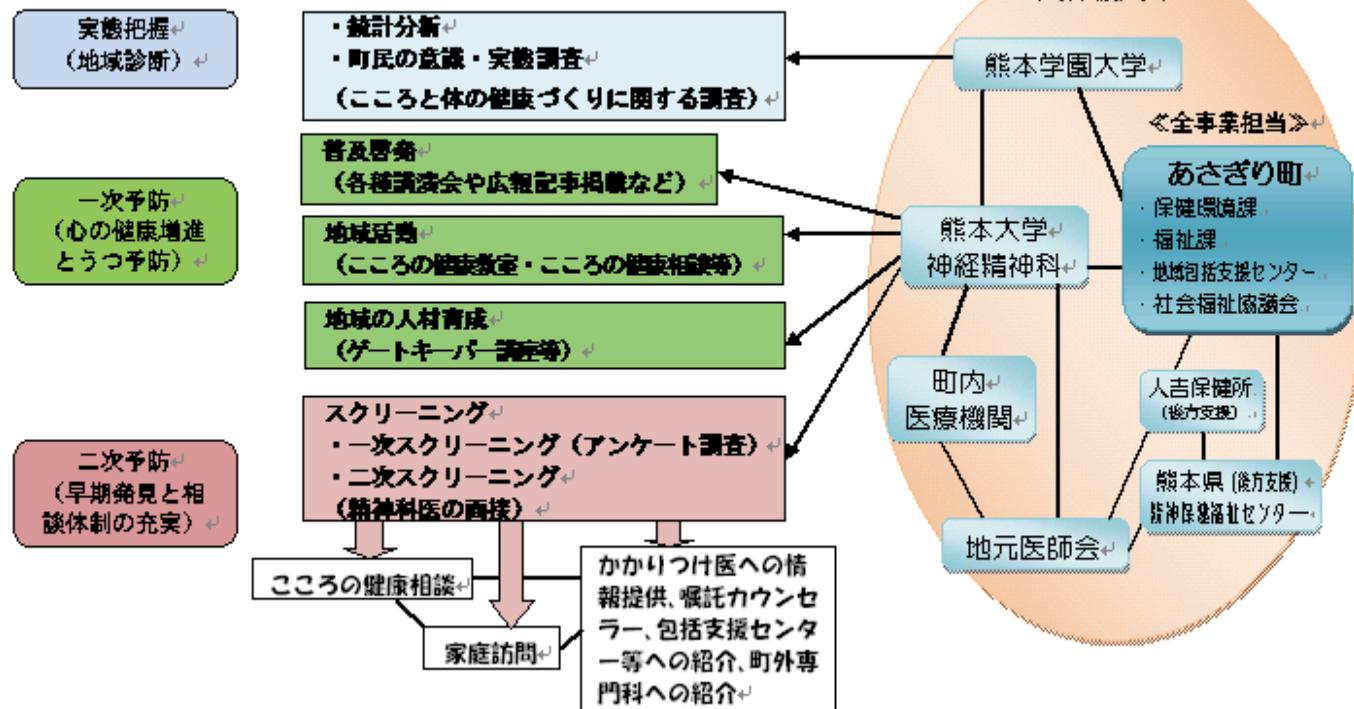
当初は町の実態把握や知識の普及啓発、相談体制の整備等を柱に事業を展開してきたが、熊本大学が中心となり当町で取り組んできた高齢者のうつスクリーニング調査の結果から、高齢者のうつ病は地域のソーシャルサポートの有無が大きくかかわっているとの報告を受け、現在は地域における連携体制の整備や人材育成にも力を入れている。

- 町の実態調査…【H19】40 歳～69 歳までの町民 1000 人に対するアンケートによる意識調査
- 知識の普及啓発…【H20～】講演会の開催（区長・民生委員等の役員や消防団や P T A など既存団体を対象）
広報紙への心の健康づくりに関する記事の掲載、啓発資料の全戸配布等
- 相談体制の整備…【H20～】毎月 1 回 町の保健センターで精神科医による「こころの健康相談」を開設
【H22～】毎月 1 回 町の保健センターで臨床心理士による「メンタルヘルス相談」を開設
- 高齢者のうつスクリーニングの実施

【H20～H24】 熊本大学が主体となり、町内の 65 歳以上の高齢者を対象に、初年は住民健診と同時実施。次年からは町内の 5 校区で校区毎にアンケート調査を実施し、回答されたハイリスク者に熊本大学精神神経科医師が二次面接を実施。要フォロー者は地域の精神科や町医、かかりつけ医、地域包括支援センター等へつなぎ、地域での支援を行っている

- 人材育成…【H24～】ゲートキーパー講座の開催（町の介護予防サポートー、町内理美容業者を対象）

【事業実施にあたっての運営体制】



【事業の工夫点】

- 相談事業等を実施するにあたり、町内医療機関との連携を図るために、例年実施している町内医療機関との会議に熊本大学精神神経科医師に高齢者のうつ予防事業の説明と実施後の報告に出席していただき、徐々に町医と相談担当医との顔の見える関係をつくるようにした。
- 高齢者のうつスクリーニングを実施する際には、校区ごとに区長や民生委員、地域サロンのボランティア等に事業説明を実施し、併せて精神科医によるうつ病等に関する研修会を行い、地域のリーダーにこころの健康づくりについての知識の普及・啓発を行った。
- うつスクリーニングを実施し、高齢の要フォロー者が多かったことから、町の地域包括支援センターと連携して訪問等を実施し、介護予防と関連させ支援するようにした。

【事業成果、その他特筆すべき点】

- 町行政や地域住民の自殺・うつ病対策への関心が高くなり、地域全体の取り組みとして定着してきた。
- 知識の普及・啓発を行うことで、うつ病の治療中であることを口にされたり、相談することに関しても抵抗がなくになってきており、地域全体の関心が高まり、町民の意識の変化が見られた。
- 町の保健師のスキルアップができ、最初の相談時に対応ができるようになった。
- これまで対応に困ることの多かった精神的な問題を抱えた処遇困難な事例にも、精神科医に相談しながら福祉課等と連携し対応できるようになり、庁内の連携体制ができた。
- 始めはやや不安に思っていた町内医療機関の先生方も、回を重ねるうちにスーパーバイザーとして相談医を信頼されるようになり、現在はとてもよい連携体制ができている。
- 理美容業者を対象にしたゲートキーパー講座に、普段かかわる機会の少ない若い世代の男性の参加があり、とても意欲的に受講されていた。受講後に気になる方の情報提供もあり、地域の中で気付いてつなぐパイプ役になっている。

(問合せ先) 熊本県 あさぎり町役場 保健環境課

TEL:0966-45-7216

E-mail:kenkouz-kenkou@town.asagiri.lg.jp

URL : <http://www.asagiri-town.net/>